

教会創立104周年

週 報

2026年7月12日 5402週

【今年度のテーマ・聖句】

神の愛によって生きるキリストのからだ
「見よ、兄弟たちが共に座っている。

なんという恵み、なんという喜び。」

(詩編133編1節)

巻 頭 言

牧師 加藤英治

私に影響を与えてくれた本③

片山寛『風は思いのままに』(中川書店、2009年)

片山寛先生は、私が西南学院大学神学部大学院前期課程で学んでいた時、指導教官を務めてくださった方です。色々な意味で、指導と良きお交わりとをいただき、時には親身になって相談に乗っていただいたりして助けていただきました。この本は、先生が西南女学院に勤めておられた時に、学生チャペルで語られたメッセージをまとめたものです。

この本から、若い学生の方に向かって、特にキリスト教信仰や聖書についての前提や知識がそれほどない方々に向かって、イエス・キリストとその福音を語るとは、どうということなのか、具体的にどのように語るべきなのか、ということの本当に良く教えられます。第一に、「分かりやすい」です。平易な言葉で、難しい論理を使わずに語られます。第二に、「例話が多く」、しかも印象的で、適切です。特にご自身のことをためらわずに用いておられます。そして第三に、神様やイエス・キリストのこと、特に「神の愛」を、「ストレートに、熱く語る」のです。私自身、これらのメッセージを読んで、大いに慰められ、励ましを受けました。

「人間は自分自身を救うことはできないんだ」と私は言いました。それも、少しぐらいは救えるとか、半分以上は救えるとかいうのではなくて、全く、ほんの少しも、髪の毛一本も、自分で自分を救うことはできないんだということです。――私が今こうして牧師でありますのも、今でも毎週教会に通い続けておりますのも、また西南女学院でこうしてチャペルでお話をしたり、キリスト教の授業をしておりますのも、すべてそれは、自分で自分を救うことはできないからなのです。私たちは他人を通してしか救われたい。その他人を通して、究極的には神様に救われるということしか、人間の幸福とか充実感というものはない、ということなのです。考えてみると、私はこの学校での十一年間、ただそれだけを皆さんにお伝えしたかったのではないですか。どうぞ皆さん、元気でいらしてください。お祈りいたします。」(2003年2月4日 送別礼拝メッセージより)

日本バプテスト シオン山教会

牧師：加藤英治

〒803-0846 北九州市小倉北区下到津2-1

TEL:093-561-0772 Fax:093-561-0760

E-mail:bapshion@eagle.ocn.ne.jp

HP-address: <https://bapzion.com>



◆ 主日礼拝

午前 10 時 30 分

司会 林田佳代子執事
奏楽 田中基子姉

前 奏
招 詞 マタイ 6 : 9 ~ 10
頌 栄 6 6 9 (みさかえあれ (B))
主の祈り (新生讃美歌の扉を参照)
交 読 1 (献堂)
讃 美 4 3 5 (山辺に向かいわれ)
聖 書 サムエル上 3 : 1 ~ 18
(新共同訳旧 432 p 口語訳旧 385 p)
祈 禱
子どもメッセージ 加藤英治牧師
讃 美 2 1 (栄光と賛美を) 聖歌隊
宣 教 「しもべは聞きます——
神のともしびはまだ消えず」
加藤英治牧師
祈 禱
讃 美 4 2 6 (語りませ主よ)
献 金 祈り : 田中由紀子姉
(女性会 C 班)
頌 栄 6 7 1 (ものみなたたえよ (A))
祝 禱 加藤英治牧師
後 奏
報 告

◎今月の聖句

「生きるにしても、死ぬにしても、
わたしたちは主のものです。」
(ローマの信徒への手紙
1 4 章 8 節 b)

本日の集会

教会学校

幼小科

10 : 30 ~ 11 : 40

中高科、青年・成人科

9 : 30 ~ 10 : 15

主日礼拝の当番

受付 : 船津丸泰 田中登美子

お花 : 二木榮子

会堂清掃 11 : 50 ~ 12 : 05

各会例会 12 : 05 ~ 12 : 45

◎今週の集会 (7 月 12 日 ~ 7 月 18 日)

<聖書> サムエル上 8 : 1 ~ 22

15 日 (水) 祈祷会 I 10 : 30

祈祷会 II 19 : 30

(司会・奨励 加藤英治牧師)

今週の聖書日課と祈り

12 日 (日)	サムエル上 3 : 1 ~ 18	内田綏子
13 日 (月)	ローマ 10 : 17	大里紀代子
14 日 (火)	出エジプト 4 : 11 ~ 12	大森せい子
15 日 (水)	コロサイ 3 : 16 ~ 17	大森秀夫
16 日 (木)	マタイ 21 : 6 ~ 9	小田ひかり
17 日 (金)	創世記 2 : 16 ~ 17	加藤英治
18 日 (土)	エレミヤ 6 : 16 ~ 17	加藤待子